

社会的責任と貢献活動

当会は、京都府を事業区域として、地元のJA等が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の農業専門金融機関であるとともに、地域経済の活性化に資する地域金融機関です。

当会は農家組合員の皆さまの経済的・社会的地位の向上を目指し、JAとの強い絆とネットワークを形成することによりJA信用事業機能強化の支援を行うとともに、地域社会の一員として地域経済の持続的発展に努めております。

また、資金供給や経営支援などの金融機能の提供にとどまらず、環境、文化、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

■ 地域貢献活動

■ 地域からの資金調達の状況

当会の平成26年度末の貯金残高（譲渡性貯金を含む）は、1兆815億円となり、うち9,956億円は府内JAよりお預かりしています。

また、組合員を含めた地域の皆さまの計画的な資産作りをお手伝いさせていただくため、目的に応じた各種貯金や国債、投資信託等の金融商品の取扱いをしています。

■ 地域への資金供給の状況

当会の平成26年度末の貸出金残高は、844億円となりました。

当会の資金は、農家組合員や農業に関連する企業、地場産業ならびに地方公共団体等においてご利用いただいております。また、農業の担い手を金融面から積極的に支援するため、(株)日本政策金融公庫の受託貸付金の活用にも努めています。

■ 地域密着型農業金融の取り組み

1. 地域農業の発展・活性化支援

① 農業者・中小企業等への経営支援に関する取り組み

農業者の協同組織金融機関として、農業者をはじめとする地域のお客さまに対して必要な資金を円滑に供給していくことを、「最も重要な役割のひとつ」として位置づけ、貸付条件の変更等の相談や申込みに対応するとともに、お客さまからの経営相談に積極的かつきめ細かく対応し、経営改善への取り組みを支援できるよう努めています。

また、「経営者保証に関するガイドライン」を踏まえ、本ガイドラインを尊重し、遵守するための態勢を整備し、誠実に対応するよう努めています。

■ 金融円滑化にかかる基本方針

当会は、府内JA信用事業の連合会として、健全な事業を営む農業者や中小企業者等のお客さまに対して必要な資金を円滑に供給していくことを、当会の最も重要な役割のひとつとして位置付け、当会の担う公共性と社会的責任を強く認識し、その適切な業務の遂行に向け、以下の方針を定め、取り組めます。

【金融円滑化にかかる基本方針】

1. 当会は、農業者や中小企業者等のお客様からの新規融資や貸付条件の変更等の申込みがあった場合には、お客様の特性および事業の状況を勘案しつつ、できる限り、柔軟に対応するよう努めます。
2. 当会は、事業を営むお客様からの経営相談に積極的かつきめ細かく取り組み、お客様の経営改善に向けた取組みをご支援できるよう努めてまいります。
また、研修等により上記取組みの対応能力の向上に努めてまいります。
3. 当会は、農業者や中小企業者等のお客様から新規融資や貸付条件の変更等の相談・申込みがあった場合には、お客様の経験等に応じて、説明および情報提供を適切かつ十分に行うように努めてまいります。
また、お断りさせていただく場合には、その理由を可能な限り具体的かつ丁寧に説明するよう努めます。
4. 当会は、農業者や中小企業者等のお客様からの、新規融資や貸付条件の変更等の相談・申込みに対する問い合わせ、相談及び苦情については、公正・迅速・誠実に対応し、お客様の理解と信頼が得られるよう努めてまいります。
5. 当会は、お客様からの新規融資や貸付条件の変更等の申込みについて、関係する金融機関等（政府系金融機関等、信用保証協会等および中小企業再生支援協議会を含む。）と緊密な連携を図るよう努めます。
また、これらの関係機関等から照会を受けた場合は、守秘義務に留意しつつ、お客様の同意を前提に情報交換しつつ連携に努めます。
6. 金融円滑化管理に関する体制について
当会は、お客様からの上述のような申込みに対し、円滑に措置をとることが出来るよう、必要な体制を整備いたしております。
 - (1) コンプライアンス委員会での協議
専務、各部長を構成員とする「コンプライアンス委員会」にて、金融円滑化にかかる対応を一元的に管理し、組織横断的に協議します。
 - (2) 苦情・相談窓口の設置
事業資金または住宅資金をお借入いただいている農業者または中小企業者等のお客様からの円滑化にかかる相談窓口及び苦情相談窓口を設置しています。
 - (3) 金融円滑化管理責任者および担当者の設置
営業部長を金融円滑化管理責任者とし、営業部に金融円滑化担当者を設置し、金融円滑化の方針や施策の徹底に努めます。
7. 当会は、本方針に基づく金融円滑化管理態勢について、その適切性および有効性を定期的に検証し、必要に応じて見直しを行います。

②農業担い手支援

担い手のニーズに応えるために、各JAに設置の担い手金融リーダーとの連携や、事業間の連携強化に取り組み、金融面からのサポートに取り組んでいます。

また、(株)日本政策金融公庫の農業経営基盤強化資金（スーパーL）や農業改良資金等の活用により、農業者の自主性と創意工夫による経営規模拡大・改善を支援しています。

③ J Aバンク京都農業被害利子補給事業

農業経営基盤に甚大な被害を及ぼす自然災害により、農業被害を受けられた農業者等への J A 融資に対し利子補給を行い、金利負担の軽減を図ることで農業経営の復興を支援しています。

④ その他の支援

新規就農者への就農支援資金による支援等、京都府をはじめ関係機関と協調・連携し、活力ある京都府農業の支援に努めています。

2. 農山漁村等地域活性化支援

① J Aグループ京都担い手対応連絡協議会を通じた取り組み

当会および J A 京都中央会等で組織する連絡協議会を通じて、他の連合会と事業間連携・情報交換を行うとともに、J A グループ京都農業法人協会に加盟の会員を中心に訪問活動を展開し、資金ニーズの把握等に努めています。

② 担い手に適した資金提供手法の取り組み

農業者の資金ニーズに即し最適な資金提供ができるよう、提案型の相談対応に努めとともに、アグリビジネス投資育成株式会社のアグリシードファンドを活用し、地域の農業発展の核となる農業法人に対する資本増強を、農林中央金庫と連携して取り組んでいます。

3. J Aバンクアグリサポート事業（J Aバンクアグリ・エコサポート基金）

J Aバンクアグリ・エコサポート基金は、J Aバンクの社会貢献活動の一環として、農業振興や環境保全に貢献する事業を展開するために設立されました。内容としては「利子助成事業」、「食と地域の文化発信事業」、「J Aバンク食農教育応援事業」「投資事業」等の事業があり、J Aバンクが一体となって活動を行っています。

① 利子助成事業

J A が行う農業融資に対して、最大で 1% の利子助成を行う事業で、京都府内においては、436 件の融資に対し、7 百万円の利子助成が行われました。

② J Aバンク新規就農応援事業

新規就農希望者の研修受入先に対して、研修費用の助成を行う事業で、京都府内においては、6 先に対し 70 百万円の助成が行われました。

③ J Aバンク食農教育応援事業（教材本贈呈事業）

子どもたちが食・環境と農業への理解を深めるきっかけとなることを目的として、平成 20 年度より京都府内の公立小学校の 5 年生（約 2 万 4 千人）



を対象に、「農業と食」「農業と環境」「農業と経済」をテーマとする補助教材本、DVD「農業とわたしたちの暮らし」を贈呈し、食農教育の理解促進に努めています。

④ JAバンク食農教育応援事業（JA教育活動助成事業）

平成26年7月20日に開催されたJA京都市主催の「夏の大感謝祭」において、「夏休みキッズスクール」と題して、小学生を対象に食農教育スクールを実施しました。集まった子どもたちに、野菜販売体験・金融教育教室・食農クイズラリーなど、食と農、お金のかわりなど食農教育の理解促進に努めています。

4. 農業・農業者応援プラン

JAバンク京都として、農業・農業者・地域を支援するため、「農業・農業者応援プラン」を策定しました。「経営安定化対策」、「農業法人等活性化対策」、「就農支援対策」、「食農教育・地域貢献対策」を4つの柱とし、JAが行う農業融資に対して、利子補給、保証料助成等の取り組みを実施しています。

5. 農商工連携応援ファンドを通じた支援

当会はJA京都中央会、京都府や地元金融機関とともに「きょうと農商工連携応援ファンド」に対して資金を拠出し、府内の農林漁業者と中小企業者の密接な連携による新たな京都ブランドの創造や新たな農業ビジネス・需要の開拓を図る取組みに対して助成金の交付により事業の支援を行っています。

■ 文化的・社会的貢献について

1. グラウンドゴルフ大会・ゴルフ大会の実施

JA年金友の会会員の相互交流や親睦、健康の増進を図るため、府内JAにおいて組織された年金友の会の会員を対象としたグラウンドゴルフ大会を毎年企画・運営しています。第15回を迎えた平成26年度は、各JA選抜の18チーム108名の方に参加いただきました。

また、第2回京都府年金友の会ゴルフ大会を開催し、87名の方に参加いただきました。



2. 「全日本大学駅伝対校選手権大会」への協賛・支援

青少年育成、地元の文化・スポーツ振興を応援する一環として、平成21年より「秩父宮賜盃全日本大学駅伝対校選手権大会」に特別協賛しています。

関西地区予選会では、参加者に京都米のおにぎりや



タオルを差し入れるなど、スタッフとして運営に参画しています。

また、全国大会出場を決めた府内の大学に対しては「京都丹後産コシヒカリ」「亀岡牛肉」を贈呈しています。

3. 「赤い羽根定期積金」による福祉活動への支援

府内の福祉活動（高齢者や障がい者・児童への福祉活動やボランティア活動）を支援するため、JAバンク京都では「赤い羽根定期積金」を取扱い、その契約額の0.01%を寄付金として京都府共同募金会に贈呈しました。



4. 「京都丹波ロードレース大会」への協賛

京丹波町の一大イベントとして毎年盛り上がりを見せている「京都丹波ロードレース」に特別協賛し、地域振興とJAバンク京都の認知度の向上ならびにイメージアップに取り組みました。

5. 「京都サンガFC」への協賛

平成18年度より、京都のプロサッカーチーム「京都サンガFC」のオフィシャルスポンサーとなり、地域の皆さまとともに応援しています。

6. おいしおすえ京野菜キャンペーンへの協賛

梅小路公園にて毎年行われる「京野菜フェスティバル」におきまして、JAグループ京都として、おいしおすえ京野菜キャンペーンへの協賛を行っています。

7. 京野菜晚餐会の開催

JAグループ京都は、京野菜の世界ブランド化に向け、前年のフランス・ベルサイユ宮殿に引き続き、平成26年8月にトルコ・トプカプ宮殿において、日本の政府関係者や京野菜の生産者、トルコからも政府関係者やマスコミ、料理人などの方々に参加いただき、盛大に京野菜晚餐会を開催しました。



8. 京都500歳野球への協賛

平成24年度より、京都500歳野球連盟に協賛し、地元の文化・スポーツ振興を応援しています。

9. 広報活動

テレビ番組「あぐり京都」（企画・提供：JAグループ京都）、「夢追人～農に生きる～」（提供：

J Aバンク京都・J Aバンク滋賀・農林中央金庫) やラジオ番組への協賛などを通じて管内の農業生産法人、農業者や農作物を紹介し、農業・農村の役割への理解や、食の安心・安全の浸透に努めています。

10. 年金相談会・住宅ローン相談会の開催

府内J Aの各店舗における「年金相談会」、「住宅ローン相談会」の開催を支援し、地域の皆さまの相談ニーズに応えられるよう、相談員の派遣や資材の提供を行っています。

